

1年次セミナープロジェクト

課題：幼稚園または小学校低学年を対象にした遊具／おもちゃの作成
 作品サイズは、37cm×29cm

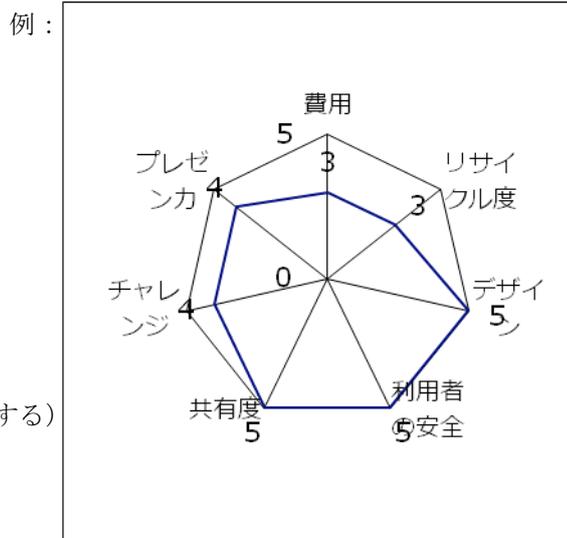
プロジェクト名：OH!弁当パズル

対象年齢： 2歳～5歳

評価規準：1-5で評価

- 費用 3
- リサイクル度 3
- デザイン 5
- チャレンジ（計画と準備の緻密さ） 4
- 利用者の安全 5
- 共有度 5
- プレゼンカ（各クラスでのプレゼン） 4

(例のように、自分達でレーダーグラフを作成する)



スケジュール概要

日付	担当責任者 (各作業の責任者)	スケジュール
	リーダー	<ul style="list-style-type: none"> 各メンバーは、○日までにチーム作業に必要な行程をリーダーに提出する。 今後の連絡先などの交換。 どんなプロジェクトにしたいか、各自でブレインストーミングし、アイデアを出しまくる。
11/3	全員	<ul style="list-style-type: none"> 作品制作についての話し合い（アイデアの出し合い、予算等を決定する。）
11/9	全員	<ul style="list-style-type: none"> 材料の買い出し 各々の担当箇所の決定
11/15	手島	<ul style="list-style-type: none"> 毛糸を使い、人形を作る
11/22	本田	<ul style="list-style-type: none"> お弁当ブックに使用する段ボールの調達 フェルトを使い、人形を作る
11/23	倉崎	<ul style="list-style-type: none"> お弁当ブックの絵を描き、色をつける フェルトを使い、人形を作る
11/24	大場	<ul style="list-style-type: none"> 中間発表に向けての紙芝居作成
11/25	全員	<ul style="list-style-type: none"> 中間発表の打ち合わせ 時間を計って中間発表の練習
11/27	全員	<ul style="list-style-type: none"> 中間発表
12/6	倉崎 本田	<ul style="list-style-type: none"> お弁当ブックにラミネート加工する
12/10	倉崎	<ul style="list-style-type: none"> お弁当箱のフタをフェルトとスパンコールを使い、装飾する お弁当箱の底に区切りをつけ、布を敷き、固定する
12/13	手島	<ul style="list-style-type: none"> 毛糸で人形を作る お弁当ブックのひもを作る
12/15	倉崎	<ul style="list-style-type: none"> コンビプラザ橋本保育園へ玩具を持って園長先生と打ち合わせをしに行

		く
1/6	全員	・コンビプラザ橋本保育園で自由遊びの時間を使い、一緒に玩具で遊んでもらう
1/9	倉崎	・マジックテープを買いに行く
1/11	手島	・マジックテープをマスコットとお弁当ブックに取り付ける ・お弁当箱のゴムに装飾をつける ・お弁当ブックのわきにテープをつける
1/12	大場	・最終プレゼンに使う模造紙の作成 ・プレゼン全体の流れを考える
1/12	倉崎 本田	・フォーマットの作成
1/13	倉崎 本田	・フォーマットの最終確認
1/14	全員	・最終プレゼンの内容確認 ・最終プレゼンの練習(時間を計って) ・各自の発表部分の暗記
1/15	全員	・最終プレゼン
1月中	倉崎	・コンビプラザ橋本保育園へ制作した玩具を寄付しに行く

1. 費用

計画：必要な資材の予測

項目	予想金額 or リサイクル	予想調達先
段ボール	リサイクル	サクラドラッグ
毛糸	100 円×3	ダイソー
動く目	100 円	ダイソー
刺繍糸	100 円	ダイソー 手芸用品店
フェルト	100 円×3	ダイソー 手芸用品店
布用ボンド	100 円	ダイソー
スパンコール	100 円	ダイソー
布	100 円	ダイソー 手芸用品店
ガムテープ	100 円	ダイソー
両面テープ	100 円	ダイソー
模造紙	100 円	ダイソー 文房具店 小田急OX
ゴム	100 円	手芸用品店
ラミネート用テープ	100 円	ダイソー
鈴	100 円	ダイソー
画用紙	100 円	ダイソー 文房具店

調査：調達先別の資材比較

項目	実際価格 or リサイクル	調達先
段ボール	リサイクル	サクラドラッグ
毛糸	100 円×5	ダイソー
動く目	100 円	ダイソー
刺繍糸	100 円	ダイソー
フェルト	100 円×5	ダイソー
布用ボンド	リサイクル	倉崎
スパンコール	リサイクル	倉崎
布	リサイクル	大場
ガムテープ	リサイクル	倉崎
両面テープ	リサイクル	倉崎

模造紙	100 円	ダイソー
ゴム	リサイクル	手島
ラミネート用テープ	リサイクル	倉崎
鈴	100 円	ダイソー
画用紙	100 円	ダイソー

実行：最終資材

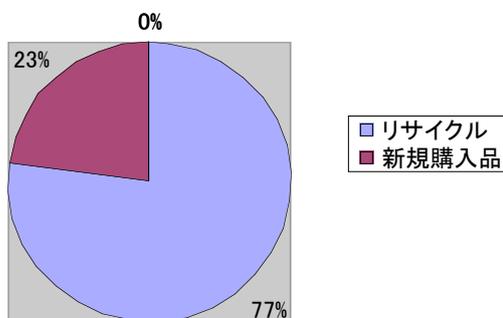
項目	実際価格 or リサイクル	調達先
(新規購入品)		
動く目	100 円	ダイソー
フェルト	100 円×3	ダイソー
鈴	100 円	ダイソー
画用紙	100 円×2	ダイソー
模造紙	100 円	ダイソー
マジックテープ	100 円×2	ダイソー
(リサイクルで調達するもの)		
段ボール	リサイクル	サクラドラック
布用ボンド	100 円	倉崎
スパンコール	100 円	倉崎
布	100 円	大場
ラミネート用テープ	100 円	倉崎
ガムテープ	100 円	倉崎
両面テープ	100 円	倉崎
ゴム	100 円	手島
毛糸	リサイクル	手島
刺繍糸	リサイクル	大場

新規購入費用： 1000 円 全て新規購入した場合の総費用： 2700 円

1000 円 : 2700 円 = 23 : 77

総費用：1000 円

2. リサイクル度（自分達で、フォーマットをダウンロードし、円グラフを作成する）



デザイン

資料（文献、インターネット情報、専門家からの伝授）など、最終デザインに行き着くまでのデザインの変容と修正理由などを残しておく）

日付	変更前デザイン	改善後のデザイン
11/3	お弁当箱の耐久性が低く、踏んだら壊れそうだった。	周りに段ボールを貼り付け、耐久性を高くした。貼った場所の見栄えが悪かったので布を上から貼りつけた。
11/12	人形に音がするものが付いていなかった。	聴覚的にも楽しめるように人形の中にも周りにも鈴をつけた。*3 別紙参照
11/15	人形に目が付いていなかった。 *1 別紙参照	視覚的にも楽しめるように人形に動く目を付けた。
11/22	お弁当箱のふたが何も装飾されていなかった。	お弁当箱のふたにスパンコールやうさぎのフェルトを装飾し、視覚的に楽しめるようにした。
11/25	お弁当箱の底が段ボールのままだった。	お弁当箱に布を敷きつめて明るい色にした。
1/11	人形に口がついていなかった。	愛着が持てるように人形に口をつけた。
1/12	お弁当ブックの段ボールが端だけ見えてしまっていた。	黄色のガムテープを貼り、より本に近い形にした。

3. チャレンジ

改善点：

日付	改善前（どこに、どんな改善が必要か）	改善後（どう改善したか）
11/12	お弁当ブックに創造性を養うページを作る。	最後のページに自分で考えて一つのお弁当の具を入れるページを作った。
11/15	お弁当ブックに子どもが舐めても安全なようにする。	お弁当ブックを舐めても大丈夫なようにラミネート加工をした。また、そうすることで塗色したところが消えないようになり、耐久性も強くなった。 *2 別紙参照
1/12	子どもたちに遊ばせたところ、お弁当ブックに絵と同じ人形をくっつけたがった。 *4 別紙参照	お弁当ブックの絵と人形がくっつくようにするために両方にマジックテープを貼りつけた。
1/12	大人数でお店屋さんごっこができるので人形の種類が少ないので増やす必要がある。 *5 別紙参照	人形の種類を増やした。

4. チームワーク：

チームプロジェクトから学んだこと	チームプロジェクトで苦勞したこと
みんなで意見を出し合うことで、ひとつのおもちゃの遊び方にバリエーションが増えた。	授業の空き時間が合わなかったり、部活動をしている人がいたのでなかなかみんなで集まることが出来なかった。

一人一人それぞれ役割を分担することで、作業効率が上がった。	人によって作業にかかる負担が違ってしまった。
楽しくおもちゃ作りに取り組むことで、チームが一致団結した。	予定した計画通りなかなか進まず、遅れてしまうことがあった。

5. 利用者の安全

安全管理：予測可能なリスクを列挙し、そのためにどのような対策を練っているか書く。

想定できるリスク	リスク回避の方法	具体的に用意するもの(安全マニュアルなど)
お弁当ブックが段ボールや画用紙で出来ているので、子どもが塗色部分を舐めたり噛んだりしてしまう。	お弁当ブックをラミネート加工し、塗色部分が直接口に付かないようにする。 *2 別紙参照	大きめのセロハンテープ。
人形を投げたてしまうことと怪我をしてしまう。	柔らかい毛糸やフェルトで作ることによって万が一投げたてしまっても怪我をすることがない。	毛糸 フェルト
人形を子どもが誤飲してしまう。	子どもの口に入らないように大きめに人形を作成した。 *6 別紙参照	毛糸 フェルト
お弁当箱の角が子どもに当たって怪我をしてしまう。	お弁当箱の角が出ないように、ふたにはラミネート加工をして、下は布で覆った。	大きめのセロハンテープ 布

6. 共有度

(どのような遊び展開が可能か？何人一人までが利用できるか？どのような遊びを提案できるか？)

1. マスコットだけで遊ぶことができる。1人～8人。視覚や聴覚、手触りで楽しむことができる。***3**
2. お弁当ブックを見ながらお弁当箱に絵と同じようにマスコットを敷きつめる。1人～3人。同じ絵の通りに並べるというページは知的発達、自分でおかずを考えるページは創造的発達を養うパズルになっている。
3. お弁当ブックだけで遊べる。1人～3人。具材の名前を覚え、又明るい色で塗色したので視覚的にも楽しむことができる。
4. お弁当ブックに同じ絵のマスコットを貼りつけて遊ぶことができる。1人～3人。
5. マスコットを使ってごっこ遊びができる。1人～5人以上。お店やさんやおままごとができる。

7. プレゼンカ

報告計画：クラスでの報告、または担任への個別報告した内容と担任からの指導内容など

日時	報告担当者 (1人1回は報告)	報告内容(進行状況、課題、課題解決の方法案、今後の予定など)	担任からのアドバイスなど
12/4	手島 かがり	進行状況 ・おかずの人形作り ・お弁当箱の土台	・おかずの野菜に顔を付ける。子どもに目が付いている野菜と目が付いていない野菜とではどちらに興味を示すか実験してみる。また、根拠となる文献を探す。 ・お弁当箱の装飾をする。 ・お弁当の角を壊れにくく修正。

12/4	本田 知子	<p>進行状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当ブックの完成 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当ブックを子どもが舐めると危険、壊れやすい。 <p>課題の解決案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当ブック全体をラミネート加工する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班の人たちの教育観を統一して遊び方の難易度を決める。 ・親子でお弁当という共通の話題ができてコミュニケーションがとれて良い。 ・食べ物のことを題材にしているので、食育の好き嫌いなどがなくなる。
	全員(中間プレゼン)	<p>題材の理由・対象年齢・遊び方・工夫した点・改善点・リサイクル品などを発表。</p> <p>この時点での改善点は本のラミネート加工、箱の装飾など。</p> <p>今後保育園で実際に遊ばせて、そこからは発見した改善点を改善していく。</p>	<p>原稿あまりみないようにすること。時間のこと。</p>
1/12	倉崎 未来	<p>実際に保育園に行った際の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢を園長先生と話した結果2歳児のクラスに下げた ・お弁当パズルを使った遊び以外に、お店屋さん遊びをすることで、更に大人数でも遊べたことの報告 <p>課題解決の方法案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当箱の表紙、底の装飾 ・収納方法について <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォーマットの作成について 	<ul style="list-style-type: none"> ・おかずのマスコットに目だけでなく口も付ける ・魚のマスコットの目を黒目にする ・お弁当箱の底の部分の黒のガムテープの改善 ・お弁当ブックの段ボール部分が見えないよう工夫する ・フォーマット作成の費用グラフについて
1/14	大場 紀子	<p>実際に園児に遊ばせて改善した所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本とおかずをマジックテープでくっつけられるように作り直した ・おかずに目だけではなく口も付けた ・絵本の見えていた段ボールを隠した ・ゴムに装飾 <p>今後の課題と解決方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当箱のデザイン <p>かわいい布などでカバーする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の字 <p>上から紙を張る</p> <p>もっと理論的に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメイズム 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本とおかずのサイズの比の改善 ・絵本の字は不必要 ・絵本の改善(絵本の裏と表をわける) ・お弁当箱のデザインの改善(黒はあまりよくない) <p>発表の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことを簡潔に <p>フォーマットの書き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用のグラフ気をつける